



令和4年度団訓練検閲を実施

「すべては実任務として行動せよ」

第一施設団は、令和四年九月三十(金)日から十月十八日(火)までの間、関山演習場、大日原演習場及び東富士演習場等において令和四年度団訓練検閲を実施した。

本訓練検閲は主要検閲項目を「指揮幕僚活動」「部隊の基本的行動・隊員の基礎動作」「施設技術等」の3点とし、計画段階及び実動段階の区分において受閲部隊の行動を評価した。

武力攻撃予測事態における出動準備、武力攻撃事態及び復旧活動の一連の状況下、受閲部隊である第五施設群、第三〇六施設隊、第一〇一施設器材隊及び第三〇一ダンプ車両中隊に対して、指揮所用掩蓋掩壕の構築、地雷原の処理、92式浮橋・軽門橋による渡河作業、重要防護施設の警備、道路構築等任務を付与し、訓練検閲を実施した。

各受閲部隊は部隊長を中心に団結・規律・士気を保持し、これまで達成してきた施設技術等を十分に発揮するとともに、敵情・地形・気象を克服して任務を遂行し本訓練検閲を終了した。



92式浮橋による渡河作業
(第101施設器材隊)



指揮所用掩蓋掩壕の構築
(第5施設群)



道路構築
(第301ダンプ車両中隊)



障害処理
(第306施設隊)

鳥インフルエンザ災害派遣

器材隊を基幹として二四〇人態勢

第一施設団は、茨城県かすみがうら市に所在する養鶏場において、鳥インフルエンザが発生し、茨城県知事から十一月四日午前九時三十五分、陸上自衛隊施設学校長に対し災害派遣が要請されたことにより、十一月四日(金)から九日(水)までの間、かすみがうら市における鳥インフルエンザ発生に伴う災害派遣を実施した。

分区分担部隊長である第一施設団長は同要請を受け、第一〇一施設器材隊を基幹とし古河駐屯地に所在する第三〇一ダンプ車両中隊、第一〇二施設直接支援大隊、第二高射特科群第三三七高射中隊に加え、施設学校及び武器学校からも所要の要員の配属を受け、約二四〇人の災害派遣部隊を編成し、二十四時間態勢で約四十八万羽の処分支援等を実施して十一月九日午前十一時、すべての派遣活動を終了した。



総監による現場視察



殺処分支援等の様子

東ティモール能力構築支援

「支援任務終了し無事帰国」

第一施設団は、八月十七日(水)から九月三十日(金)までの間、東ティモール能力構築支援を実施した。

派遣隊員は、同期間を通じ東ティモール国軍工兵隊に対し土木、施設機械整備の教育を行い東ティモール国軍の能力向上と両国軍の友好及び信頼感の醸成に大いに寄与して任務を完遂した。



帰国報告



コンクリート打設を指導



転圧作業を指導する隊員

各部隊等の活動紹介

関東補給処古河支処は、令和四年十月二十四日(月)から十一月三十日(水)までの間、令和四年度兵站・衛生訓練に参加した。

本訓練を通じ、支処内の整備員を運用した整備用部品の前送準備訓練を実施し、前送諸元を獲得する等、兵站支援能力の向上を図った。



古河支処内の隊員を運用した前送準備訓練

関東補給処古河支処は、令和四年十月三十一日(月)から十一月九日(水)までの間、宇都宮駐屯地に所在する第三〇七施設隊と協同し築城資材の梱包積載訓練を実施した。

本訓練では、各種補給用品の發送準備に係る練度及び兵站支援能力を向上するとともに、関係部隊と連携強化を図った。



第三〇七施設隊と連携した梱包積載訓練

関東補給処古河支処は、令和四年十二月八日(木)・九日(金)の二日間、令和四年度第八回持続走記録会(3キロメートル走)を実施した。

記録会の開始前には、OB会による激励が行われOB会会長の小原様により激励の言葉をいただいた。

記録会に参加した自衛官は、小原会長と工藤様及び所属する事務官・技官が応援する中、これまでの練成成果を遺憾なく発揮した。

令和四年最後の力走となった。



OB会会長 小原様によるスタート

古河駐屯地業務隊は、令和四年十月十三日(木)、所属する自衛官全員を対象に駐屯地警備教育及び警棒格闘訓練に関する普及教育を実施した。

教育では、最近の警備事案、ドローン等無人機法制・対応及び警棒の適切な使用方法について徹底した。



警棒を使った対処教育

古河駐屯地業務隊は、令和四年十一月三日(木)かすみがうら市の養鶏場で発生した鳥インフルエンザに対する災害派遣部隊に対して、補給・給食・燃料交付(時間拡大・随時対応)、衛生(健康診断)等の支援を実施した。



早朝に出発する派遣部隊への燃料交付



派遣部隊に対する飲料水の交付

古河駐屯地業務隊は、令和四年十一月三十日(水)・十二月一日(木)の二日間、第三十二代業務隊長築山二佐から第三十三代業務隊長福田二佐の離着任式を挙行了した。

着任式は、行政副長立ち合のもと実施された。業務隊長は、「みんなを笑顔に」を統率方針に掲げ、駐屯各部隊に対する支援業務を確実に実施するよう要望した。



第三十三代業務隊長 福田二佐着任式

第二〇二施設直接支援大隊は、令和四年十月六日(木)から十四日(金)までの間、東富士演習場等において令和四年度後方支援隊訓練検閲を受閲した。

訓練検閲は、出動準備から武力攻撃事態における部隊行動について受閲し、その評価を受け、じ後の練成訓練の資を得た。



重機関銃の設置



トラックリヤアクスルの交換

第一〇二施設直接支援大隊は、令和四年十一月八日(火)から十八日(金)までの間、東富士演習場において実施された秋季演習場定期整備に東富士整備支援隊として参加した。

整備支援隊長は、要望事項として「積極支援」「安全管理・健康管理」「各種能力の向上」の三点を挙げて整備支援各隊員に徹底し、大隊一丸となり任務達成に寄与した。



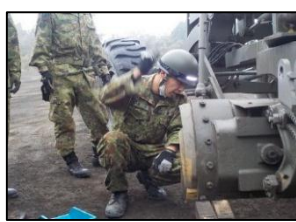
リッパーの点検及び整備



トラックハブリダクションの整備



チューブ付きタイヤのパンク修理



グレーダエンドピットの交換

各部隊等の活動紹介



ラッパ演奏



巡 閲



記念撮影



ガンハンドリング

第一〇一施設器材隊は、令和四年十二月十八日(日)古河駐屯地において創隊五十周年記念行事を実施した。記念行事は、「伝統を未来へ」をテーマに掲げ、OB会及び隊員家族を迎え、計百七十一名が出席し執り行われた。

創隊記念式典は、整斉澗刺と「部隊の威容」を示すとともに、訓練展示、装備品展示、スライド上映及び記念撮影を行い五十周年の節目を祝った。

また、祝賀会食は、新型コロナウイルス感染症防止のため、OB会と主要幹部のみに限定して行った。小規模ながら和やかに昔話に花を咲かせ、記念行事は盛会に終了した。

基地通信中隊古河派遣隊は、令和四年九月八日(木)から十五日(木)までの間、第四回群訓練が実施され様々な器材の操作に関する練度の向上を図った。

本訓練の成果を生かし、古河駐屯地の通信基盤の保守管理・運営を実施する。



慎重に操作する隊員

第三〇一ダンプ車両中隊は、令和四年十一月八日(火)から十七日(木)までの間、東富士演習場において実施された令和四年度方面隊秋季演習場定期整備に参加した。

演習場整備では、採礫場の開設・運営及びダンプによる骨材運搬により各部隊の担任する機動路整備等を支援するとともに、採礫場全般の維持・管理等を整齐と実施し、任務を完了した。



ダンプによる骨材運搬 (演習場定期整備)

第三〇一ダンプ車両中隊は、令和四年十月七日(金)から十四日(金)までの間、令和四年度団訓練検閲を受閲した。

本訓練は、「方面の全般支援に任ずるダンプ車両中隊の行動」について、平素の状況から徐々に敵の脅威が増す状況で行われた。

中隊一丸となり、示された任務を完遂し検閲を終了した。



受領物資の点検をする隊員 (訓練検閲)



射撃予習 (伏射ち)



射撃予習 (中間姿勢)

第三四一會計隊は、令和四年十二月五日(月)に実施する令和四年度第二回射撃検定に向けて十一月二十八日(月)から十二月二日(金)までの射撃予習を実施した。

射撃予習は、正しい姿勢、正しい見出し及びねらいを集中して練成することに着意した。

射撃検定当日は、気温が低い一日であったが、射撃予習の成果もあり全員合格した。



運搬装てん装置による誘導弾積載



敵航空機を発見し重機関銃による射撃

第三七高射中隊は、令和四年十一月二十九日(火)から十二月一日(木)までの間、東富士演習場において中隊訓練検閲を受閲した。

中隊訓練における、問題点を確実に是正して、万全の態勢で臨んだ。

悪天候の中での検閲であったが各隊員、自らやるべきことを考え、最大限の力を発揮し、中隊として「概ね優良」の評価を獲得することが出来た。

修親会活動

古河駐屯地修親会は、令和四年十二月九日（金）、十六日（金）、二十二日（木）の各日に古河市内にある戦没者慰霊碑の清掃活動を実施した。古河市内にある多くの慰霊碑の清掃を行い地域住民及び遺族会への信頼感の醸成及び道徳心を涵養することができた。

今後も古河駐屯地は地域と国民のために尽力する。



雀神社境内



上大野集落センター



東山田公園内

曹友会活動

古河駐屯地曹友会は、令和四年十二月五日（月）から九日（金）までの間、古河駐屯地正門において挨拶運動を実施した。

各駐屯部隊とのコミュニケーションを図り、服務指導の資とすることができた。



あいさつ運動

花壇コンクール

令和四年度
第二回花壇コンクールの
優勝は、第一〇一施設器材隊本部付隊
花壇の名前は
「篝火灯ル牡丹達」



優勝



2位

関東補給処古河支処総務部
「色とりどりの花模様～花と花のつながり秋・冬Ver～」

3位



第102施設直接支援大隊
「クリスマスガーデン」

4位



第320基地通信中隊古河派遣隊
「小さな森の通信隊」

新着任部隊長紹介

《古河駐屯地業務隊長》



福田2佐は
目黒駐屯地から

《警務隊古河連絡班長》



太田3尉は
習志野駐屯地から

転出者部隊長等紹介

《古河駐屯地業務隊長》



築山2佐は
練馬駐屯地へ

《警務隊古河連絡班長》



秋山2尉は
久里浜駐屯地へ

《関東補給処古河支処》



北島1佐は
習志野駐屯地へ

定年退官者の紹介



102DS 荒木曹長
10月5日付



102DS 千葉准尉
10月10日付



業務隊 水野准尉
10月16日付



器材隊 瀬尾曹長
10月17日付



102DS 仁井田准尉
10月21日付



支処 香嶋2佐
12月15日付



支処 小泉1曹
12月22日付



支処 廣瀬准尉
12月26日付



団本付 福田1曹
12月27日付

永年の勤務、お疲れさまでした。

トピックス

ツイッター、ユーチューブ、ホームページのQRコードです。是非、フォロー及び登録をよろしくお願いします。

